



情報システム部門・ITベンダーのシステムエンジニアリング
システム構築に関わるエンドユーザーのための

業務革新手法を応用した システム要件定義手法 速習講座

業務改善のツボを押さえればシステム要件定義も
フットギャップ分析もできる!

こんな問題抱えていませんか？

- ユーザー部門から聞き取った要件に漏れが多い
- システム化の効果を定量的に出しにくい
- 要件定義に時間がかかる
- システム要件定義ができる人材が少ない
- システム化の対象業務を絞りきれない

システム構築はシステムありきではなく、
人間系の業務プロセス設計を主体として
推進しなければ真の成果は得られない

この講座では、業務プロセス中の作業を“情報の発生”と“ムダ”に分解することで身近なムダを発見し改善する手法から、システム構築へ適用するまでの方法論を、業務革新ツールHITシステムを用いながら体系立てて解説します。

講師 田代 敏也氏

社団法人可視経営協会
株式会社システム科学

全日本能率連盟認定マスターマネジメントコンサルタント。日本IBMを経てシステム科学入社。HIT業務革新手法の開発・コンサルティングを推進。
コンサル実績：製造12社、情報7社、小売2社、建設1社、金融1社、運輸1社、製薬1社、会計事務所1社

1プログラム

- 業務プロセス可視化手法
- システム要件定義手法
- 業務プロセス改善手法
- リスクマネジメント手法
- BPR手法

本講座の目的

- ▶ 全体最適化を目指したビジネスプロセスの構築
- ▶ 仕様変更に伴う影響調査・分析の効率化とスピード化
- ▶ システム化による投資対効果の定量測定
- ▶ 「エンドユーザーコンピューティング」によるシステム構築の効率的推進
- ▶ パッケージシステム導入時のフィットギャップ分析の効率化
- ▶ 不正不利益リスクが起きにくいシステムの開発
- ▶ システム構築における超上流工程の効率化により開発期間を短縮
- ▶ データベース構築のためのデータ項目分析、把握
- ▶ ITの専門技術および管理技術の向上による人材の育成

開催概要

※プログラムは予定です。内容は一部変更する場合がございます。ご了承ください。

セミナー名	情報システム部門・ITベンダーのシステムエンジニア、システム構築に関わるエンドユーザーのための業務革新手法を応用したシステム要件定義手法速習講座	定員	50名(最少開催人数15名)	※申込人数が最少開催人員に達しない場合は、開催を中止させていただく場合があります。
日時	9月19日(木) 13:00~17:00(受付12:30)	受講料	¥20,000(税込)	
会場	福岡 天神クリスタルビル 福岡市中央区天神4丁目6-7	主催	日経ビジネスオンライン 課長塾*	
最寄駅	●西鉄大牟田線「福岡(天神)駅」徒歩7分 ●福岡市営地下鉄空港線「箱崎線」天神駅「徒歩4分			